

# 内野・五十嵐まち協だより

第27号

発行 内野・五十嵐まちづくり協議会 発行日 令和7年1月



## 避難所運営委員会 設立に向けて

防災防犯部長 小林 正幸

元日に能登半島地震があり、その後「(距離がある、線路を越えられない等で避難所に行くのが困難なので)近くの内野まちづくりセンターに逃げ込みたい」という多くの住民からの声を受け、6月には内野まちづくりセンターに、緊急時は一時的に避難出来るようになりました。しかし、肝心の指定避難所(内野小学校・内野中学校・新潟大学)の運営委員会は3か所とも未だ設立されていない状況でした。

そこで、自助・共助・公助の取り組みによる円滑な避難所運営を目指すため、避難所運営委員会設立の研修会を開催しました。日本防災士会新潟県支部の長濱直也氏を講師に迎え、講義と実習、ワークショップを全3回行いました。

### 【8/22 第1回研修会】

- 講義「避難所運営委員会の立ち上げ方について」
- 各指定避難所に分かれワークショップ

### 【9/26 第2回研修会】

- 講義「避難所運営委員会の立ち上げの具体的作業について」
- 各指定避難所に分かれワークショップ

### 【10/17 第3回研修会】

- 講義「避難所運営委員会としての初動訓練」
- 段ボールベッド組立等の資器材使用実習
- 各指定避難所に分かれワークショップ

研修会には当協議会15自治会に加え、近隣自治会にも参加していただき、お互いの顔を見ながら、実際の避難所運営について具体的に話し合うことが出来ました。

今後、更なる研修を重ね、有事に備えたいと思います。

(新潟市補助事業)



## スポGOMI西区大会 in 五十嵐浜



生活環境部 家後 寛之

6/8(土)五十嵐2の町浜にて、構成団体のスマイルストーリーさん(スポGOMIワールドカップ2023準優勝)を中心にして開催されました。

スポGOMIは、チームのメンバーと制限時間内にゴミを拾い、ゴミの量と質でポイントを競うスポーツです。

ご家族や職場の仲間等で組んだチームは全27組、総勢100名以上という多くの方々にご参加いただき、白熱したバトルとなりました。かなり重量のある網等を含め、拾ったゴミの総量617.86kg。過去にない量を拾った大会になったとのことでした。

地域に放置されているゴミを競いながら楽しく拾い、今回開催された五十嵐2の町浜が綺麗になった素晴らしい大会となりました。

参加していただいた皆様、大変お疲れ様でした。

(新潟市補助事業)



## 健康寿命アップ教室



文化・スポーツ部長 家後 寛之

5/24(金)から、およそ毎月1回金曜に新たな取り組みとして、「健康寿命アップ教室」をスタートいたしました。年齢を重ねても活動的に生き生きと過ごしていただきたいという思いから、頭と体を動かしながら毎回楽しく開催しております。前期は講師に高島善史先生を、後期は長瀬圭子先生をお迎えして、参加者の皆様の体力に合わせて運動強度を変えながら、体操やストレッチなどの体力・柔軟性の向上や、お手玉などを使ったゲーム感覚で認知機能を高める



運動を行っております。毎回感じるのは女性のパワーの凄さと笑うことの大切さ。男性の皆様も是非ご参加ください!

(新潟市補助事業)

## 5年ぶりに「うちのDE月見酒」を開催しました!



10月27日(日)16時から内野まちづくりセンター3階ホールにて、内野の銘酒(塩川酒造・樋木酒造)を1,000円(オリジナル枡購入)で飲み比べできる「うちのDE月見酒」を開催しました。

今年は5年ぶりということもあり、以前よりブラッシュアップした内容で行いました。遠方も含め、約100名の日本酒好きが集まり、地元のお酒を堪能しながら、会場は和気あいあいとした雰囲気につつまれていました。

(主催:新潟西商工会青年部)

## 「地域で見守る子ども人権」講座



### アライになろう!誰もがその人らしさを認められ、尊重される社会へ

副会長 小林 正幸

今回の講座は、「性的マイノリティ(LGBTQ)を正しく理解する」ための内容と知り、社会的立場の弱い人や自己主張出来ない子どもたちを守ることも地域づくりの大切な役割では、と思い参加しました。

最初に、内野中学校校長から、物事は「変えられる」について生徒に学んでほしかったと言う先生方の思いと生徒の声を反映して校則を見直し、制服の変更に取り組んだ事例発表があり、次に性的マイノリティ(LGBTQ)についての基礎知識と誰

もがその人らしさを認められ尊重される社会への話がありました。そこで、講座名にも出てくる「アライ」とは「性的マイノリティについて理解し支援する人」を示すものだと知り、いろんな応援方法があることを学びました。

団塊の世代の私にとって、既成概念が様々な思い込みになっていたと深く反省。「無知は偏見を生み、偏見は差別を育てる」ことを思い知らされた講座でありました。

(共催:西地区公民館・内野中学校 他)



## 古俣聖選手、おめでとうございます

### パリオリンピックで大活躍

内野(五十嵐3の町)出身の、古俣聖選手がフェンシング団体エペで銀メダルを獲得されました。当協議会から、ささやかではありますがお祝い金とセンターに掲示した色紙などを贈りました。今後のさらなるご活躍をお祈りします。

(写真は内野小での報告会 9/9)



## 3年掛かりの内野町美化プロジェクト 無事終了

60年前の新潟国体開催の際に内野駅前商店街と内野町二番町・内野町三番町の大通りにコンクリートプランターが設置されましたが、長い年月と共に白かったプランターは薄汚れ、雑草の生い茂った状態が続いていました。

そこで美しい町の景観を取り戻すべく、令和4年に地元団体「夢アートうちの」の方々を中心に、プランター再生事業「内野町美化プロジェクト」が開始されました。

重量のあるプランター 109個をクレーン車で1か所に移動し、一つ一つを丁寧に水洗い。その後、内野小学校の児童と一緒にペンキ塗りをし、寒椿を植えて、元の商店街や大通り・内野町3番町の公園に再び設置、という作業を3年掛けて

行いました。

再生されたプランターが末永く綺麗な状態を保てるよう、地域住民の方々には一緒に見守っていただければ幸いです。

ご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

(新潟市補助事業)



令和4年4月



令和6年11月

## 多くの人で賑わった「内野まつり」

今年の内野まつりは、13日内野小学校4年生による「こども屋台」で幕を開けました。その夜に恒例の「大民謡流し」があり、露店も大賑わいでした。

14日は「バンドフェスティバル」や「みこし渡御」、「町内山車引廻し」が盛況に取り行われ、最終日は一部雨天による行事中止もありましたが、「キッチンカー出店」でも多くの方が楽しんでおられました。また、「カラオケ大会」は出場者の熱演とゲストの三味線奏者史佳さんによるパフォーマンスで大いに盛り上がりました。



※この広報誌「内野・五十嵐まち協だより」は「新潟市補助事業」を利用して発行しています。